

## 指定管理業務評価結果書

## 1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	倉敷市立船穂武道館・船穂弓道場
(2) 指定管理者	所在地 倉敷市阿知 1 丁目 7 番 2-705 号 名称 クラレテクノ株式会社 ビル管理サービス事業部 代表者 事業部長 滝島 啓介
(3) 公の施設の所管部署	文化産業局文化観光部スポーツ振興課
(4) 評価対象期間	令和 2 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日まで

## 2 総合評価結果

(1) 市の評価	<p>今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策への取り組み、施設の美化・清掃状況を重視して評価を行った。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策への取り組みについては、職員による利用者への利用前検温、定期的な換気及び利用後の接触箇所の消毒等を適切に実施し、対策を講じた上で施設運営を行うことができていた。</p> <p>施設の美化・清掃状況については、十分な清掃頻度を確保した上で、施設全体の美化に努めることができていた。</p> <p>今後も引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、利用者が安心して利用できる施設管理に努めていただきたい。</p>	総合評価
	S	
(2) 指定管理者の自己評価	<p>新たな指定管理期間（R 2 年 4 月～R 7 年 3 月）の 1 年目となる今年度は、昨年より続いている新型コロナウイルス感染症の影響で 4 月 20 日～5 月 31 日までの約 1 か月間、休館となりました。その後は国、県、市の方針に基づき、感染症対策を講じながら市民の方にご利用頂きました。具体的な感染症対策としては、入館時のマスク着用、利用前の全ての利用者への検温実施、消毒液設置による手指の消毒、利用人数の制限と定期的な換気及び利用後の資機材の消毒等です。また、館内（特にトイレ）を常に清潔な状態に保つため、利用後の見廻り強化と手の触れる個所（ドアノブ、手摺等）の消毒等、日常的な清掃に注力致しました。</p>	

	<p>年間の利用者数は前年より下回りましたが、休館中及びその前後を除けば、ほぼ例年通りの利用者数となりました。</p> <p>来年度は新型コロナウイルス感染症の終息を願うとともに、船穂武道館利用者から感染者を出さないよう、万全な対策を講じながら管理・運営に努めていきます。</p>
(3) アンケート結果の概要	<p>アンケート結果によると、全体満足度は98.9%と昨年度に引き続き高い水準を維持している。施設の清潔度については、昨年度の91.8%から93.7%へと上昇した。</p> <p>また、意見としては、武道館・弓道場ともに、駐車場の増設を要望する声が多かった。</p>

## 3 施設の利用状況

(1) 利用実績	利用人数実績 平成29年度 28,039人 <u>令和2年度 21,569人</u> 平成30年度 21,053人      (内, 武道館 19,541人) 平成31年度 25,135人 (内, 武道館 22,645人)
(2) 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営に関する業務</li> <li>・利用促進に関する業務</li> <li>・受付及び案内に関する業務</li> <li>・利用調整に関する業務</li> <li>・備品の管理等に関する業務</li> <li>・電気自動車の充電に関する業務</li> <li>・物品等販売事業</li> <li>・事業計画, 業務報告に関する業務</li> <li>・自己評価の実施業務</li> <li>・遺失物, 拾得物の処理, 保管業務</li> <li>・環境衛生管理業務</li> <li>・施設及び設備の維持管理に関する業務</li> <li>・施設内の外溝, 植栽等の管理業務</li> <li>・個人情報保護等に関する業務</li> <li>・急病等, 緊急時対応業務</li> <li>・施設賠償責任保険等の加入</li> <li>・事故防止, 事故への対応</li> <li>・警備及び巡回業務</li> </ul>

## 4 収支

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額 14,459千円 市からの指定管理料(委託料) 13,350千円 利用料金 978千円 その他の収入 131千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額 13,486千円 主な支出 人件費 5,191千円 福利厚生費 71千円 通信運搬費 224千円 光熱水費 2,670千円 修繕料 613千円 消耗品費 444千円 施設管理委託費 2,929千円 自主事業経費 10千円 その他経費 1,334千円